

令和6年度都立福生高校 定時制課程における教科指導の重点

教科	重点課題	取組	発展的取組
国語	基礎学力の形成	・生徒の理解度を即した授業内容を形成する。 ・基礎学力を確認する小テストを適宜実施する。	言語活動の充実を高めるため、一人1台端末を活用した発表活動を行う。
数学	基礎学力の形成	授業ごとに生徒の理解度を確認し、生徒の理解度に即した授業内容の形成を行う。	生徒が協力して問題を考察する時間を多く取り、主体的に問題に取り組む力を育成する。
英語	スピーキング指導の充実	授業内に数回スピーキングテストを適宜実施する。	スピーキングテスト等年に数回、一人1台端末を活用する。プリント演習はteamsを通じて連絡、作業をさせる
地歴公民	生徒が主体的に学ぶ姿勢を形成する。	毎回の授業で資料の読み取りを行う。	各教科で一人1台端末を活用した発表活動を実施する。
理科	生徒が主体的に取り組む学習活動の充実	一人1台端末を活用した発表活動を行う。	発表活動の際に生徒相互での評価を行い、生徒自らが学習に取り組む意欲を高める活動を行う。
保健体育	生涯にわたって運動を継続する能力を育て、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を育てる。	①身体活動の楽しさを味わい運動量を確保して体力の向上を図る。②安全公正協力などの態度を養う。③生涯を通じて継続的に運動できる能力を育てる。④健康・安全について理解を深める。	①主体的・対話的で深い学びを実現する。 ②男女共修を実現する。
音楽	音楽表現の創意工夫	音楽の表現方法を自ら考えさせる授業を行う。	単元のまとめごとにグループで音楽の表現方法を相互点検させる。
美術	美術表現の創意工夫	美術の表現方法と意図を作品に表現させる。	単元のまとめごとにグループで作品を相互評価させる。
家庭科	生活産業の各分野について自ら考える力をつける。	・生活産業の各分野の技術を身に付ける ・生活産業や職業に関する課題を発見させる。	生活産業や職業に関する課題をグループで考えさせ、発表させる。
情報	「問題の発見・解決学習の充実」	・各単元で問題点を考えさせる授業を行う。 ・各単元のまとめでグループで課題解決の方法を協議し、発表させる。	各単元でオンラインを活用した専門的な学びを行う。